

みんなく映画会

みんなくワールドシネマ

映像に描かれる〈包摂と自律〉

—支援と絆—



© Christine PLENUS

第19回上映会

2012年 **12月9日** [日] 13:30~16:00 (開場13:00)

場所 **国立民族学博物館 講堂**

参加料 **無料** (ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)

定員 **450名** 入場整理券を10:00から講堂入口にて配布します。事前申込は不要です。

主催 **国立民族学博物館**

Le gamin au vélo / The Kid with a Bike

2011年/ベルギー=フランス=イタリア合作/フランス語/87分/日本語字幕付き

監督/ジャン=ピエール&リュック・ダルデンヌ

出演/セシル・ドゥ・フランス トマ・ドレ ジェレミー・トーマス

司会 **鈴木 紀** (国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授)

解説 **岩崎美枝子** (家庭養護促進協会・理事)

お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL. 06-6878-8210 (土日祝を除く9:00~17:00) <http://www.minpaku.ac.jp/>



国立民族学博物館

関西から
文化力
POWER OF CULTURE

みんなくワールドシネマ

映像に描かれる「包摂と自律」 —支援と絆—

国立民族学博物館では、2009年秋から開始した機関研究「包摂と自律の人間学」のテーマにあわせて、研究者による解説付きの上映会「みんなくワールドシネマ」を実施しています。第4期は「支援と絆」をキーワードに映画上映を展開していきます。今回は、ベルギー映画「少年と自転車」を上映します。親に見捨てられた少年が、初めて信頼できる大人に出会い、心を開いて成長していく軌跡を心温かく緻密に描いた作品を通して、血の繋がらない者どうしが家族になることについて、皆さんと共に考えていきたいと思います。

第19回上映会

2012年12月9日(日) 13:30~16:00(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料(ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)

定員 450名

入場整理券を10:00から講堂入口にて配布いたします。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

少年と自転車 Le gamin au vélo / The Kid with a Bike

2011年/ベルギー=フランス=イタリア合作/フランス語/87分/日本語字幕付き

監督/ジャン=ピエール & リュック・ダルデンヌ

出演/セシル・ドゥ・フランス トマ・ドレ ジェレミー・トーマス

司会 鈴木 紀(国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授)

解説 岩崎美枝子(家庭養護促進協会・理事)

映画解説

世界的に評価の高いベルギーの兄弟監督・ジャン=ピエール&リュック・ダルデンヌが、日本で耳にした実話を発想豊かに映像化し、カンヌ国際映画祭で見事グランプリに輝いた。音信不通の父親と再び暮らせる日を一心に夢見て、児童養護施設で悶々と過ごす少年は、大切な想い出の詰まった自転車を買い戻してくれた女性美容師に、週末だけ里親としての支援を頼み込む。唯一の家族に疎外されて傷つき、悪の道に迷い込む少年の固く閉ざされた心を、決然たる美容師が、ゆるやかに解かしてゆく。社会の片隅で喘ぐ若者たちを見つめてきたダルデンヌ兄弟が、血の繋がりを超え、揺るぎない信頼を育み合う二人をまばゆく照らし、映像作家として新たな境地を予感させる珠玉作を撮り上げた。(服部香穂里)

「あなたならどうしますか?」

洋の東西を問わず、色々な事情で親と共に生活できず、施設や里親に預けられる子どもたちがいます。この映画の少年は、父と父方の祖母と暮らしていました。祖母の死と父の失業によって、少年は施設に預けられます。父は3ヶ月したら迎えに来ると言いましたが、その期間が過ぎても、面会はおろか連絡も付かなくなりました。父が買ってくれた少年にとっては宝物のような自転車もなくなっています。

少年は父を信頼していますから、この状況が納得出来ないので。施設の職員も父を自分から引き離すことに荷担していると思えず、反抗します。暴れる少年とぶつかっただけの女性サマンサは、その少年に何かを感じたのでしょうか。その自転車を捜し、買い取って施設に届けてやるところからこの物語は始まります。こんな状況に置かれた少年がどう行動を起こすか、あなたが少年ならどうなさいますか? また、あなたがサマンサなら、父親ならどうするのでしょうか?

私はこの映画をそれぞれの登場人物に自分をおきかえながら、自分ならどういう態度をとるのか、どう解決をするだろうかと考えながら観ていただきたいと思います。少年の感情が一途で素直なだけに、少年を取り巻く大人たちの打算や弱さがよく見えてきます。(岩崎美枝子)



© Christine PLENUS

「包摂と自律の人間学 —支援と絆—」

国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授 鈴木 紀

包摂とは、自分では解決できない困難を抱えている人に対して、他の人や社会全体が支援の手をさしのべることを意味します。自律とは、支援を受けた人が少しずつ自信をつけ、やがて自分でその問題に向きあえるようになることを意味します。このように包摂と自律を実現するためには、支援という行為が鍵になります。それでは、よい支援とはどのようなものなのでしょうか。それは支援する人と支援を受ける人との間に信頼感が生まれ、相互に強い絆を意識するような場合ではないでしょうか。もとより、おごりな支援からは絆は生まれませんが、過剰な支援も絆を支配従属関係に変えてしまう危険性があります。そのためよりよい支援のためには、なぜ、どのくらい、いつまで、誰に支援するか/誰から支援を受けるかが問われることになります。支援と絆をめぐるこうした問題を、映画を通して考えましょう。

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分

*映画会のみ参加される方は、自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要となります。

「公園東口駅」下車徒歩約15分

*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス

〔近鉄バス〕(阪大本部前行き)阪急茨木市駅から約20分

JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き)

阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分

「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。

下車、徒歩約5分

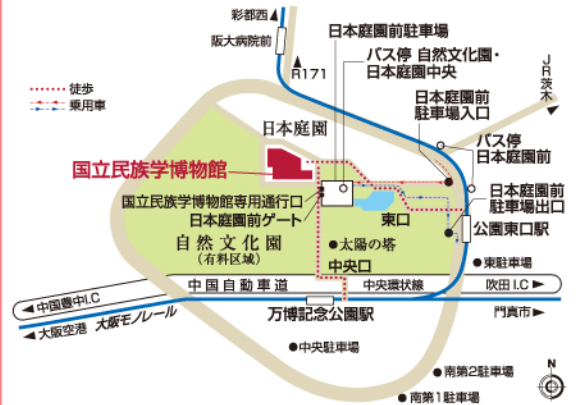
●乗用車

駐車施設が無い「みんなく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通ください。



お問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL.06-6878-8210(土日祝を除く9:00~17:00)
<http://www.minpaku.ac.jp/>



「やっぱりヨーロッパ春のみんなくフォーラム2013」関連 みんなく映画会

パリ20区、 僕たちのクラス Entre les murs 2013年1月12日(土)

2008年/フランス映画/
フランス語 他/128分/
日本語字幕付き
監督/ローラン・カンテ
出演/フランソワ・ベゴデー



© Haut et Court-France 2 Cinema